



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月13日
東・名・福

上場会社名 久光製薬株式会社 上場取引所
コード番号 4530 URL <https://www.hisamitsu.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中富 一榮
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企業戦略室長 (氏名) 磯部 雄一 (TEL) 03-5293-1704
四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	32,096	21.6	4,361	739.1	5,713	148.6	4,049	148.2
2023年2月期第1四半期	26,393	△4.9	519	△75.5	2,298	△19.5	1,631	△30.9

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 6,501百万円(8.1%) 2023年2月期第1四半期 6,012百万円(△1.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	52.09	52.05
2023年2月期第1四半期	20.46	20.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	320,184	261,629	80.9
2023年2月期	313,917	258,408	81.6

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 259,139百万円 2023年2月期 256,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	42.25	—	42.25	84.50
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	42.50	—	42.50	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,300	3.1	11,800	1.7	14,600	△9.0	10,600	△9.7	136.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年2月期1Q	85,164,895株	2023年2月期	85,164,895株
2024年2月期1Q	7,420,650株	2023年2月期	7,420,560株
2024年2月期1Q	77,744,275株	2023年2月期1Q	79,737,560株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予想には、不確実な要素が含まれ、変動する可能性があります。従って、実際の業績は現時点での当社の判断に対して異なる可能性もあります。
- ・当社は、2023年7月13日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、医薬品などの創製・育薬・製造・販売を通じて「世界の人々のQOL（クオリティ・オブ・ライフ：生活の質）向上を目指す」を経営理念と定めています。多様化するお客様のニーズに応えるべく、『「手当て」の文化を、世界へ。』という企業使命のもと、当社が培ってきた貼付剤技術をベースに事業活動を積極的に展開してまいります。また、今後も、地球にやさしい「エコ&コンパクト」パッケージの実現等をはじめとする、ESG（環境・社会・ガバナンス）及びSDGs（持続可能な開発目標）を推進する活動を行うことで、持続可能な社会の構築に貢献し、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は以下の通りです。

<売上高>

売上高は、320億9千6百万円(前年同四半期比21.6%増)となりました。

国内市場において、医療用医薬品事業は、2023年4月の薬価改定や継続的な後発品使用促進策による影響を引き続き受けましたが、2022年6月に腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群及び腱鞘炎への効能追加に関する承認事項一部変更承認を取得した経皮吸収型非ステロイド性疼痛治療剤「ジクトル®テープ」等の売上が増加し、前年同四半期比4.9%の増収となりました。なお、原発性手掌多汗症治療剤「アポハイド®ローション20%」は、2023年3月に国内製造販売承認を取得し、同年6月に販売を開始しています。本剤は1日1回就寝前に手掌に塗布することで効果を発揮する、日本初の原発性手掌多汗症治療剤であり、本剤の適正使用の推進に努めることで原発性手掌多汗症患者さんのクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献してまいります。一般用医薬品事業は、新型コロナウイルス感染症に関する行動規制が緩やかになったことに伴う人流の回復や各種イベントの開催に加え、訪日外国人の増加に伴いインバウンド需要が回復傾向にあること等の影響を受け、前年同四半期比55.3%の増収となりました。なお、原材料価格や包装材価格などの継続的な高騰に加え、物流費やエネルギーコストなどの諸経費も高止まりの状態が続いている中で、企業努力だけでは現在の価格を維持することが困難な状況となりましたため、2023年5月より一部商品について希望小売価格の改定を実施いたしました。今後もより一層の企業努力を続けるとともに、高品質な商品を安定的にお届けできるよう努めてまいります。

一方、海外市場において、医療用医薬品事業は、米国で後発品の影響を受けたものの、女性ホルモン製剤の需要の高まりや円安の影響もあり、前年同四半期比13.5%の増収となりました。一般用医薬品事業は、円安の影響に加え、積極的な販売活動により米国やアジアを中心としたその他の地域で売上を伸ばし、前年同四半期比43.9%の増収となりました。

〔地域別売上高〕

(単位：百万円)

		2023年2月期 第1四半期実績	2024年2月期 第1四半期実績	増減額	増減率
売上高		26,393	32,096	+5,703	+21.6%
医療用医薬品	日本	12,509	13,120	+611	+4.9%
	海外	3,343	3,794	+450	+13.5%
	米国	2,531	2,491	△39	△1.6%
	その他地域	812	1,303	+490	+60.3%
一般用医薬品 ・ その他	日本	3,049	4,735	+1,685	+55.3%
	海外	6,728	9,680	+2,951	+43.9%
	米国	3,529	4,792	+1,263	+35.8%
	その他地域	3,198	4,887	+1,688	+52.8%
その他事業	日本	761	765	+3	+0.5%

<利益>

営業利益は、43億6千1百万円(前年同四半期比739.1%増)となりました。その主な要因は、売上の増加に伴い売上総利益が増加したことによるものです。なお、販売費及び一般管理費は、143億5千6百万円(前年同四半期比0.9%増)となりました。

経常利益は、57億1千3百万円(前年同四半期比148.6%増)となりました。その主な要因は、営業利益の増加によるものです。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、40億4千9百万円(前年同四半期比148.2%増)となりました。その主な要因は、経常利益の増加によるものです。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表の概要は以下の通りです。

<資産、負債、純資産の状況>

総資産は、前連結会計年度末と比較して62億6千6百万円増加し、3,201億8千4百万円となりました。主な増減は、その他流動資産(26億3千3百万円増)、その他有形固定資産(純額)(19億8千9百万円増)及び投資有価証券(16億6千8百万円増)です。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して30億4千5百万円増加し、585億5千5百万円となりました。主な増減は、支払手形及び買掛金(9億8千3百万円減)及びその他流動負債(47億1千5百万円増)です。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して32億2千1百万円増加し、2,616億2千9百万円となりました。主な増減は、その他有価証券評価差額金(13億9千5百万円増)及び為替換算調整勘定(9億4千4百万円増)です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回発表時(2023年4月13日)の予想を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	122,154	122,303
受取手形、売掛金及び契約資産	40,014	38,793
有価証券	14,714	14,217
商品及び製品	10,330	11,116
仕掛品	562	733
原材料及び貯蔵品	8,030	8,199
その他	3,629	6,262
貸倒引当金	△261	△251
流動資産合計	199,174	201,375
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,980	13,977
その他（純額）	29,229	31,218
有形固定資産合計	43,209	45,196
無形固定資産		
販売権	394	382
その他	551	494
無形固定資産合計	946	877
投資その他の資産		
投資有価証券	60,845	62,513
その他	9,948	10,428
貸倒引当金	△207	△207
投資その他の資産合計	70,586	72,734
固定資産合計	114,742	118,809
資産合計	313,917	320,184

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,351	7,368
電子記録債務	6,567	6,619
短期借入金	1,071	1,071
未払法人税等	2,338	1,943
賞与引当金	1,340	369
その他	22,908	27,623
流動負債合計	42,578	44,996
固定負債		
長期借入金	147	131
退職給付に係る負債	8,408	8,450
その他	4,375	4,977
固定負債合計	12,931	13,559
負債合計	55,509	58,555
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,473	8,473
資本剰余金	2,361	2,361
利益剰余金	235,569	236,333
自己株式	△27,196	△27,196
株主資本合計	219,208	219,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,042	18,437
土地再評価差額金	3,403	3,403
為替換算調整勘定	15,819	16,763
退職給付に係る調整累計額	631	562
その他の包括利益累計額合計	36,896	39,167
新株予約権	260	270
非支配株主持分	2,042	2,220
純資産合計	258,408	261,629
負債純資産合計	313,917	320,184

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)
売上高	26,393	32,096
売上原価	11,647	13,378
売上総利益	14,745	18,718
販売費及び一般管理費	14,225	14,356
営業利益	519	4,361
営業外収益		
受取利息	52	470
受取配当金	83	90
為替差益	1,657	618
その他	136	232
営業外収益合計	1,929	1,413
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	108	42
その他	41	17
営業外費用合計	150	61
経常利益	2,298	5,713
特別利益		
固定資産処分益	141	—
特別利益合計	141	—
特別損失		
固定資産処分損	41	0
特別損失合計	41	0
税金等調整前四半期純利益	2,398	5,712
法人税等	657	1,533
四半期純利益	1,740	4,179
非支配株主に帰属する四半期純利益	109	129
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,631	4,049

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	1,740	4,179
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△281	1,391
為替換算調整勘定	4,660	995
退職給付に係る調整額	△80	△46
持分法適用会社に対する持分相当額	△26	△17
その他の包括利益合計	4,272	2,322
四半期包括利益	6,012	6,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,928	6,320
非支配株主に係る四半期包括利益	84	181

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の算定方法

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しています。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2023年7月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について次のとおり決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由
資本効率の向上および株主へ利益還元を推進するため
2. 取得する株式の種類
当社普通株式
3. 取得する株式の総数
2,000,000株 (上限)
4. 株式の取得価額の総額
10,000百万円 (上限)
5. 取得期間
2023年7月14日～2024年2月29日
6. 取得の方法
東京証券取引所における市場買付

さあ! 全力発揮。
気になるそこに、手当てのチカラを。



Hisamitsu®

TEAM JAPANオフィシャルパートナー
(外用鎮痛消炎剤、筋肉疲労ケア製品、医療用サポーター)

久光製薬はTEAM JAPANを応援します。

Hisamitsu® スポーツケア・キュアシリーズ



サロンパス。
肩こり・腰痛・筋肉痛に
医薬用医薬品
【医薬品】



のびのび。
サロンシップフィット。
肩こり・腰痛などに
医薬用医薬品
【医薬品】



エア-サロンパス。
ジェットα。
筋肉痛・筋肉疲労に
医薬用医薬品
【医薬品】



フェイタス。Zα。
ジクサス。
肩などの重い痛み
に
医薬用医薬品
【医薬品】



フェイタス。
サポート。
サポート
に
【医薬品】



エア-
サロンパス
アイシング
スプレー
【医薬品】



Hisamitsu。
マッサージ
ローラー
ジェル
【化粧品】



Hisamitsu。
マッサージ
オイル
スプレー
【化粧品】



温熱用具
直貼。
【医薬用器具】